



まちのできごと

2/25 第29回雄武町民雪合戦大会 白熱の試合

町民雪合戦大会が雄武小グラウンドで開催され、小学生4チームが優勝を目指して熱戦を繰り広げました。総当たり戦の3セットマッチで試合が行われ、最初は動きが硬かった児童たちも、試合数が進むにつれて、好プレーを連発。参加した雄武小6年の小林大也くんは「練習の時間は短かったけど、アウトを取れてよかった」と笑顔で話してくれました。



↑ 真剣勝負を行う児童たち

↓ 記念撮影をする園児



2/9 若草保育所ひなまつり写真撮影 今日は私も晴れ姿

若草保育所でひなまつりに先立ち、年長児による写真撮影が行われました。数種類の衣装の中から好きな色を選んだ園児たちは、あっという間に可愛いお殿様とお姫様姿に変身しました。その後、男女1人ずつ台座に座り、慣れない服装に緊張した様子でしたが、職員の「笑って」という声に精いっぱい笑顔浮かべて記念撮影を行っていました。

↓ ブルームボールをプレーする児童たち



2/7 学社融合ブルームボール教室 ブルームの魅力体験

ブルームボールの楽しさを知ってもらおうと、ふるさと100メモリアル広場で町教育委員会主催のブルームボール教室が開かれました。この日は雄武小6年生が対象。町ブルームボール協会から講師として招かれた2人から、パスやシュートなどの指導を受けたあと、試合に挑戦しました。最後には講師2人との試合も行われ、児童たちは、氷の上を転ばないように注意しながら、一生懸命ボールを追いかけていました。

2/24 児童センタースポーツ大会 みんなで楽しく

児童センターでスポーツ大会が開かれました。当初は「雪中ドッジボール」の予定でしたが、あいにくの天候のため「室内ドッジボール」に変更されました。それでも、児童たちは元気いっぱいドッジボールを楽しみました。中でも児童センター職員と参加児童による対決では、職員にボールをぶつけてアウトを取ると全員で大喜び。最後には、児童センターからの参加賞としてジュースが配られ、みんな仲良く渴いた喉を潤していました。



↑ ドッジボールを楽しむ児童

↓ 出発式のテープカットの様子



↑ 移動式販売車「ひので丸」

2/28 「ひので丸」営業開始セレモニー 地域のために

中心市街地から離れており、買い物に困難な人のための移動販売車が新しく披露され、町商工会主催の営業開始セレモニーが道の駅おうむで開催されました。「ひので丸」と名前が付けられたトラックは、冷蔵、冷凍機能を持ち食料品などを販売。また、地域住民のコミュニケーションの場としても期待されています。

町商工会の橋詰会長は「利用していただける皆さんに、喜んでいただけるよう取り組んでいきたい」と話してくれました。

2/10 バレンタインチョコ作り 世界に一つだけの味

バレンタインデーを前に、児童センターでバレンタインチョコ作りが行われました。参加児童はパイ生地で作ったお菓子にチョコなどを飾って作る「リングチョコ」など自分用とプレゼント用の2種類のチョコレート作りに挑戦。職員から作り方を教わりながら、チョコレートを湯煎で溶かすなどの作業を真剣な表情で行いました。オリジナルのチョコレートを完成させた児童たちは「おいしい」とその出来栄に大満足の様子でした。



↑ バレンタインチョコを作る児童たち

↓ 熱い演奏を披露する出演者



2/24 雄武バンドライブ TURNUP 熱気あふれる演奏を披露

中山間雄武活性化施設を利用したバンドライブが開催されました。雄武高校の生徒たちで結成されたバンドのほか、枝幸町、紋別市などから7組が出演し、THE BLUE HEARTSの曲など、思い思いの音楽を演奏。主催者の龍野昇平さんは「12月の高校生が行ったライブに触発されて企画しました。徐々にライブをすることが出来て良かった。今後も続けていきたい」と話してくれました。